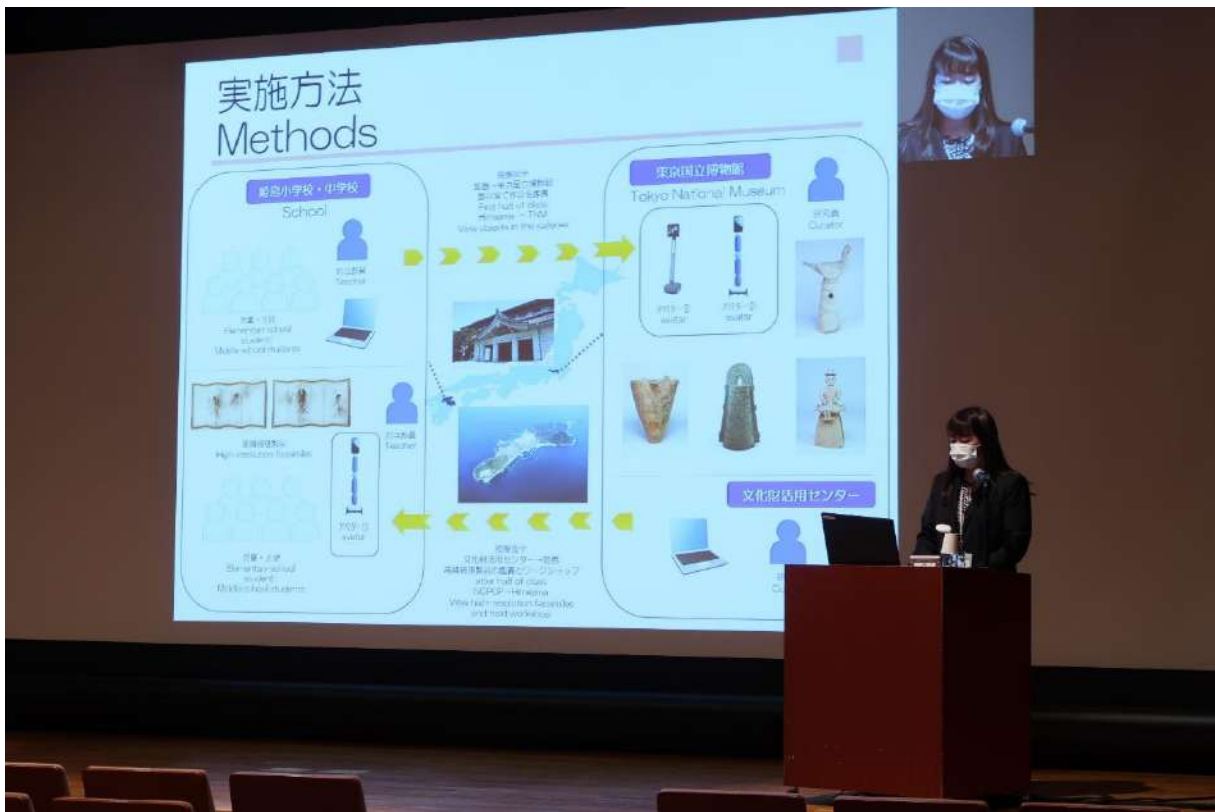


# 国際シンポジウム 「ミュージアムとオンライン 実践と展望」

2022年1月29日（土）  
オンライン開催



## 開催趣旨

---

2019年からはじまった COVID-19 の世界的流行により、世界中で人と人との交流は制限され、その暮らしの様相は一変しました。世界各国のミュージアムの多くで扉を閉めざるを得なくなり、来館者に門を閉ざすことになりました。実際に人々が訪れ、展示室で展示物に出会う場所であるミュージアムのリアルな活動の制限は、まさしくミュージアムの存在理由そのものが問われる事態をもたらしたのです。

そして昨年 2020 年度のシンポジウムでは、「日本美術がつなぐ博物館コミュニティー：ウィズ／ポスト・コロナ時代の挑戦」をテーマとして、感染症が世界を覆った事態を鑑み、完全にリモートで実施され、この困難な時代において、ミュージアムがいかに活動していくのかが討議されました。

今現在、世界中でワクチン接種が進み、この時代を脱する光が見えつつあります。そこで今回のシンポジウムは、感染拡大のなかで各国、各地域のミュージアムが挑戦し、実践した「オンライン事業」に注目して、その実践の様相とともに、展望を議論したいと思います。

イン・パーソンであることが本質的な活動であるミュージアムにおいて、昨年以来の実践を通して、それぞれのミュージアムにおける「オンライン事業」がどのような位置づけを持つことになったか、その当否も含めて将来的なミュージアムにおけるオンライン事業の展望をそれぞれの事例を紹介いただきながら、さまざまな視点から考えていきたいと思います。

東京国立博物館  
学芸研究部 調査研究課長  
松嶋 雅人

# 国際シンポジウム 「ミュージアムとオンライン 実践と展望」

2022年1月29日(土)

オンライン開催

13:30-13:35	<b>開会</b> 主催者挨拶 銭谷真美 東京国立博物館長 司会 松嶋雅人 東京国立博物館 学芸研究部 調査研究課長
13:35-13:55	<b>発表1</b> ジェーン・アレクサンダー クリーブランド美術館 デジタル情報部長 「生まれ変わる21世紀の美術館」
13:55-14:10	<b>トークセッション</b> シネード・ヴィルバー(クリーブランド美術館 日本美術担当学芸員)との対談
14:10-14:20	<b>発表2</b> ナネット・ブーメル アムステルダム国立美術館 デジタル&マーケティング部長 「アムステルダム国立美術館:デジタルによる発信とコロナ禍で学んだこと」
14:20-14:30	<b>トークセッション</b> メンノ・フィツキ(アムステルダム国立美術館 アジア美術部長)との対談
	<b>休憩</b>
14:45-15:10	<b>発表3</b> 土屋隆英 京都市京セラ美術館 事業企画推進室 展覧会プログラムディレクター 「コロナ下の開館、そして美術館の『オンライン活動』と『ニューノーマル』」
15:10-15:25	<b>質疑応答</b>
15:25-15:50	<b>発表4</b> 小島有紀子 文化財活用センター企画担当研究員/東京国立博物館 「オンラインによるアウトリーチプログラムの実践」
15:50-16:05	<b>質疑応答</b>
16:10	<b>閉会</b>